

原材料高、人材確保に苦戦

1月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

原材料などのコスト増で厳しい状況が続く中、駆け込み需要があった昨年と比較すると売上・収益の減少傾向がみられる。一方、一部業種では、仕事量の増加が見られるものの、人材確保に苦慮している状況が窺える。

| | | | |
|------|---------|--|---|
| 製造業 | 食料品 | | パンは円安の影響で原材料価格が上昇し収益が悪化している。菓子は昨年並みに推移している。製麺は、生・乾麺とも状況は好転せず、そば粉・小麦粉価格の上昇気配もあり厳しさが続く模様である。酒造は本醸造酒が大きく落ち込む。 |
| | 繊維・同製品 | | 婦人服地は比較的順調に推移している。輸出向けは円安効果による売上増を期待している。和装織物は夏用商品の動きが早い。伊勢崎織物はインテリア資材として商談の動きがみられる。繊維製品は、婦人服の売れ行きが思わしくなく最悪な状態である。レースは、原料高、製品安の状況が益々ひどくなっている。 |
| | 窯業・土石製品 | | 生コンの出荷量は、26年度は前年度実績を下回る模様である。コンクリートブロックは、住宅着工数が減少傾向で先行きを不安視している。コンクリート製品は、民間向けは増加、公共向けは減少という状況である。砕石は、販売価格は上昇しているが売上高は減少し、地域間格差も目立つ。 |
| | 機械・金属 | | 国内への生産回帰の流れに期待するも、依然、原材料高や熟練者をはじめとした人手不足など取り巻く環境の悪化は続き、大企業のようなベースアップは難しい状況である。一方、富士重工関連は非常に好調で、金型関連も好転を示し全体的に好調ムードである。プラスチック金型は昨年並みに推移している。 |
| | その他の製造業 | | 製材は、原料不足で仕入単価は上昇し、製品単価下落で荷動きも悪い。印刷業は、選挙関連の受注増が一部でみられるも、業界全体の受注は低迷している。ゴム製品は、一部の企業は受注増で求人募集するも確保が難しい状況である。紙加工品は、競争が激化し販売数量を減らし、販売価格も下落傾向である。 |
| 非製造業 | 卸売業 | | 人手不足で求人募集するも若者の応募が少なく、新卒者獲得難も懸念している。また、値引き要請や価格転嫁が難しく収益が悪化している。農産物卸は、野菜・果実は前年並みに推移するが、アメリカ港湾ストの影響で輸入果実の入荷に影響がみられる。水産物卸は、年末年始に魚の需要が増えたが売上高は減少している。 |
| | 小売業 | | 家電小売は、売上・収益ともに悪化している。中古車オークションは出品台数が大幅に低下している。ガソリン小売は、15~17円/ℓの値下がりが必要減で大幅な売上減である。商店街は、寒波で客足が少なく、新年会も減り、飲食店も賑わいに欠ける。生花店は、菊が品薄で高値となり各店とも収益が減少している。 |
| | サービス業 | | 伊香保温泉は、月末に開催された国体冬季大会の影響で若干入込が増加している。不動産取引業は、消費税10%が先送りになった影響で物件探しが慎重になり、問い合わせや契約に減少傾向が見られる。建物設計業は、人口減少が予想される中、住宅着工数の減少傾向が続くことを懸念している。 |
| | 建設業 | | 電気工事業は、仕事量が増加し収益が好転するも、人手不足が続いている。塗装工事業は、仕事量が多く、人件費上昇に伴う収益悪化に若干回復感が見られる。鉄構業は、積極的な設備投資が行われている一方で稼働率の低下が見られる。 |
| | 運輸業 | | スバル関連は好調だが、野菜は寒さで出荷量減少と全体的に荷動きは低調である。軽油が値下がりの中、運賃の値下げ要請が散見される。また、運転者募集に対する求職者は少なく、今後の需要期を不安視している。小口輸送は、自動車部品関連の好調が続く上、多方面より受注があり昨年並みの売上を確保している。 |

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 113.7(前月比▲0.6%)「県統計課・12月」
- 販売電力量 128,370万kWh(前年同月比▲1.6%)「東電群馬支店・12月」
- 住宅着工戸数 1,130戸(前年同月比▲13.7%)「県建築住宅課・12月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.85倍・有効1.23倍「群馬労働局・12月」
- 大型小売店販売額 268億円(前年同月比▲0.8%)「経済産業省・12月」
- 消費者物価指数(全国) 103.3(前年同月比+2.4%)「総務省統計局・12月」
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)